

冬号

ふれあいネットワーク

つるい 2019



社協だより



ふれあい昼食会で、
弟子屈町から「脳トレ摩周」
さんにお越しいただいて、みんな
で楽しく脳トレ活動をしました。
参加された皆さんに楽しく
活動をしていただくことが
できました。

子育てサークル
「ひよこ会」のクリスマス会。
今年もたくさん子どもたちのところに
サンタクロースが訪れました。
お子さんもお母さんも、
笑顔いっぱいの
楽しいクリスマス会でした。



【冬号の内容】

- ◆ 鶴居村社会福祉協議会新年ご挨拶・社協会費について・・・・・・・・・・ 1～2
- ◆ 鶴居村共同募金委員会新年ご挨拶・赤い羽根共同募金配分金事業について・・・・・・・・ 3
- ◆ 「つるいdeフリマ」「宅配サンタ」について・・・・・・・・・・ 4
- ◆ 寄付金受領及び感謝状贈呈式について・被災地支援活動について・・・・・・・・ 5
- ◆ 生活支援プレサービスについて・高齢者等個別移送サービス事業について・・・・・・・・ 6
- ◆ 鶴居村社会福祉協議会からのお知らせ（ホームページ・facebookについて）・・・・・・・・ 7



この「社協だより」は赤い羽根共同募金配分金の一部を受けて発行しています



新年のご挨拶

鶴居村社会福祉協議会 会長 鶉橋 忠輝

新年あけましておめでとうございます。

鶴居村民の皆様が、平成31年の素晴らしい新年をお迎えになられましたことを、心よりお慶び申し上げます。本年も村民の皆様一人ひとりが、御健康で幸せな日々を過ごされますよう心からお祈り申し上げます。

皆様におかれましては、昨年も鶴居村社会福祉協議会に対しまして、温かいご支援とご協力を賜り、役職員一同心から御礼を申し上げる次第であります。

さて、昨年の年頭にも申し上げましたが、この数年日本は自然災害に数多く見舞われており、昨年は全国では「大阪府北部地震」、「平成30年7月西日本豪雨」が生じ、北海道においても、「平成30年胆振東部地震」により、多くの尊い命が奪われました。心からお見舞いを申し上げます。

私たち鶴居村社会福祉協議会も、常に自然災害発生などに注意を払い、鶴居村役場は基より、北海道社会福祉協議会、さらには各市町村社会福祉協議会と協議を重ね、万全の体制をとることを心掛けながら、日々の業務に当たっております。皆様におかれましては、特に地震災害などへの備えから、日常生活の中で、身の回りの整理整頓により災害時の安全の確保に心掛けることが必要と思います。

また、皆様生きがいをもち、安心して充実した生活を送り、「心豊かな長寿社会」を築くためには、お一人お一人が地域社会に積極的に参加し、協力していくことが重要であると考えております。

その為に、当会は、地域ごとに皆様が心おきなくお茶を呑みながら楽しくお話や遊びができるよう、地域の方々を中心としたサロンの設置・運営を支援して参りました。現在までで、村内5ヵ所のサロンが立ち上がり、本会も関わりを持ちながら、それぞれの地域で楽しく活動をしていただいています。今後も私たちは、皆様のお立場に立って、できる限り心を込めてお手伝いをして参ります。

最後になりますが、本年も、ボランティアならびに多くの村民の皆様のご協力を得て、あらゆる困難な事案に対処すべく、役職員も一丸となって、村民の皆様とスクラムを組み、福祉課題の解決に向かって進んで参ります。どうぞ村民の皆様の御協力をお願い申し上げます。

事務局

評議員

監事

理事

副会長

会長

謹賀新年

職員
一 同

和 田 貴 義

渡 辺 京 巖

白 木 子 豊

畔 田 直 文

草 川 虹 子

大 木 秀 子

秋 里 秀 尚

釜 范 泰 夫

村 上 弘

室 田 純 子

直 里 純 子

秋 山 智恵子

佐々木 順 一

伊 藤 忠 輝

鶉 橋 忠 輝

鶴居村社会福祉協議会より御礼



平成30年度鶴居村社会福祉協議会会費納入にあたり、村民の皆様からあたたかいご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

今年度は **773戸 231,900円** のご支援をいただくことができました。

各地域の自治会長様、農事組合長様、班長様にはお忙しいところ会費納入にご協力いただき感謝申し上げます。

皆様から納入いただきました社協会費は、社会福祉協議会の各種「福祉事業」の推進のための大切な財源とさせていただきます。

今後とも皆様のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

社協会員会費について

社会福祉協議会は・・・

「社協（しゃきょう）」と略されて呼ばれることが一般的です。

社協は、行政機関の一部あるいは外郭団体と考えられがちですが、民間レベルで福祉を進める団体です。地域の中で抱えている様々な問題について、みんなで考え、話し合い、協力して運営されている公共性の高い民間福祉団体です。

社協の事業は、みなさんからの「会費」「寄付金」「共同募金」を財源として実施しています。

社協会員会費は「募金」ではなく「会費」です・・・

地域の実情に応じた、自主的な地域福祉活動の推進を図るため、住民の皆様の理解を得ながら参加していただくことを目的に『住民会員制』を導入しています。地域福祉の原動力であり、社協を支える柱となる社協会費の趣旨をご理解いただき、一人でも多くの皆様が会員となって参加いただけるようご協力お願い申し上げます。





新年のご挨拶

鶴居村共同募金委員会 会長 室田 弘

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当会に対しご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は一年を表す漢字に「災」が選ばれました。北陸の豪雪、大阪北部地震、西日本豪雨、そして北海道胆振東部地震と多くの災害がございました。中でも胆振東部地震では、全道的なブラックアウト（停電）が発生し、本村でも特に乳牛を中心とした農家さんに大きな打撃をもたらしました。赤い羽根共同募金会では、被災された皆様の手助けを少しでもできるよう、募金活動に取り組み、多くの村民の皆様から「一刻も早く被災された各地の方々が通常の生活に戻れるように」と、義援金や募金をお寄せいただき、被災地にお届けいたしました。

また、年末の「歳末助け合い募金」で、大晦日をお独りで過ごされる高齢者の皆様に「おせち料理」の宅配サービスを実施することができました。これらの取り組みを通じて、村民皆様の助け合いの精神の力強さを感じることができました。ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

今後も共同募金がより身近に感じていただけるよう活動をして参りますので、本会の運営に関するご理解・ご協力のほど引き続きよろしくお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



赤い羽根共同募金のご協力で実施した事業

ふれあい昼食会

独居高齢者の方を対象とした「ふれあい昼食会」を、10月23日に実施しました。

25の方が参加され、ホテル TAITO さんによるビュッフェ形式の昼食を食べながら、弟子屈町の脳トレ摩周さんによる脳トレ活動、釧路市のHOBObandさんによる演奏を楽しんでいただきました。

ボランティアの皆様にも数多くご協力いただき、食べて歌って笑っての、とても楽しい昼食会をすることができました。



脳トレ活動の一幕。皆さんお元気に参加いただきました。



HOBObandさんの伴奏で参加者・ボランティアみんなで合唱。

年越しほのぼのサービス

年末をお独りで過ごされる方におせち料理をお渡しする「年越しほのぼのサービス」事業を、12月28日に実施しました。年末でみなさんお忙しい中、11の方に配達ボランティアとして参加していただき、43人の独居高齢者の方におせち料理をお渡しいただきました。

また、大津釣り公園様から昆布巻きを、手編みの会様から手編みの靴下カバーを寄贈いただき、おせち料理と合わせて届けていただきました。

多くの皆様にご協力いただき、大変ありがとうございました。



御協力いただいたボランティアの皆さん。平ありがとうございました。

年越しほのぼのサービス事業



おせち料理の見本

「生活支援サービス」のプレ実施(お試し利用)に関するお知らせ

鶴居村生活支援体制整備事業運営委員会では、地域での新たな助け合いの仕組み作りのため「生活支援サービス」のプレ実施（以下、お試し利用）を行っています。

このお試し利用は、ホームヘルパーが介護保険の制度上では対応することが難しい生活上必要な支援を、ボランティアの方に対応していただくものです。

まだ正式なサービスとして実施していないため、実施できるサービスに限りがあります。10月から現在までで3件のお試し利用を実施しました。ご相談をいただく中で対応が困難なこともあります。様々なニーズに対応できるよう、ボランティアの方々にご協力をいただきつつ、鶴居村生活支援体制整備事業運営委員会において、サービス構築に向けた協議を続けていきます。

(現在実施可能なお試し利用の内容 ※記載しているのは一例です。)

○資源ごみ・大型ごみの処分に伴う搬出作業 ○電球交換・突っ張り棒の設置・天井の清掃などの高所作業 ※その他の内容については要相談となります。

(お試し利用についてのお問い合わせ)

要支援・要介護認定を受けている方は、担当のケアマネジャーか地域包括支援センターにご連絡下さい。認定を受けていない方は、鶴居村生活支援体制整備事業運営委員会事務局（鶴居社協内）までご連絡下さい。（担当：高瀬）

※お試し利用の際に必要な物品は、**全て利用者個人にご用意いただきます**のでご承知下さい。



「高齢者等個別移送サービス事業」の会員を募集しています！

鶴居村社会福祉協議会では、「高齢者等個別移送サービス事業」の会員を募集しています。興味のある方はお気軽に本会事務局（TEL0154-64-3033）までご連絡ください。

【高齢者等個別移送サービス事業とは】

村内での移動の支援を受けたい方（依頼会員）と移動の支援をしたい方（支援会員）をマッチングし、会員相互で村民の移動支援を行う事業です。

<支援の内容について>

- 支援は、支援会員の持つ自家用車で依頼会員を目的地までお連れすることで行います。
- 支援できるのは村内での移動に限ります。
- 支援できる移動の目的にも要件があります。お困りごとがあればまずご相談ください。

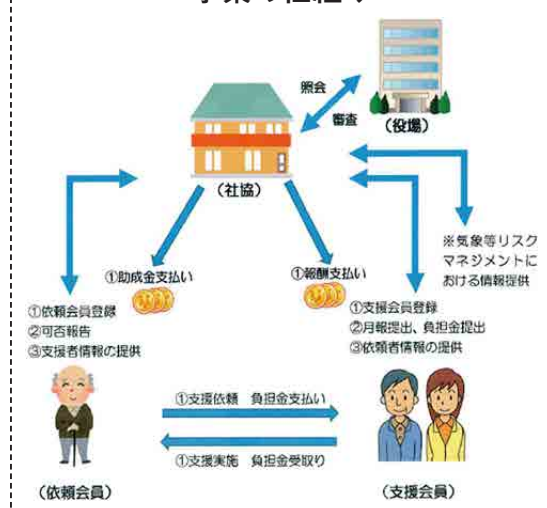
<会員資格について>

- 依頼会員（支援を受けたい方）になれるのは、「①非課税世帯の方」で、「②自家用車で自ら移動することが困難な方」です。その他詳しい要件については、本会事務局にお問合せください。
- 支援会員（支援をしたい方）になりたい方は、登録に際して受講していただく研修があります。詳細は本会事務局にお問合せください。

<利用料金・支援報酬について>

- 利用料金は1時間以内の移動で500円、1時間を超える移動時間10分毎に100円です。ただし、お支払いいただいた利用料の半額を本会から助成しますので、実質ご負担いただくのは1時間以内の移動で250円、1時間を超える移動時間10分毎に50円です。
- 支援報酬は1時間以内の移動で500円、1時間を超える移動時間10分毎に100円（利用料金の全額と同額）です。

事業の仕組み



日野浦正志氏からの寄付金受領及び感謝状贈呈式

この度、本会に、名誉村民である日野浦正志氏から、「鶴居村の地域住民の福祉の向上のために活用してほしい」として、金400,000円の寄付をしていただきました。本会では、日野浦氏のお心に感謝の意を示したいと考え、11月20日に「寄付金受領及び感謝状贈呈式」を執り行い、日野浦氏から寄付金を受領し、あわせて感謝状を贈りました。

本会では、日野浦氏からの寄付金を、来年度からの新たな取り組みに活用し、広く住民の皆さんの福祉の向上に役立てることとして、「地域福祉活性化基金（日野浦基金）」を創設しました。今後、「地域住民の福祉の向上のために活用して欲しい」として、日野浦氏と同じお心で寄付をいただいた際は、その寄付はこの基金に加え、新たな事業に活用をしていきたいと考えています。



日野浦氏(左)から寄付金を寄贈いただく鶴橋会長(右)



本会から日野浦氏に感謝状を贈呈



ボランティアグループ「手編みの会」被災地支援

平成30年9月6日に発生した「平成30年北海道胆振東部地震」によって、日高地方では甚大な被害が生じました。

ボランティアグループ「手編みの会」は、被災地支援のため、10月14日に厚真町を訪問し、手編みの靴下と靴下カバー計300足を現地に届ける活動を行いました。その際、本会職員も随行し、現地での活動をお手伝いさせていただきました。



厚真町災害対策本部で靴下を寄贈する
手編みの会代表の渡辺氏(右)



休憩スペースに訪れた現地の方とお話を
させていただきました。

現地では、災害対策本部、交流館、休憩所スペースとして開放されていたバーにそれぞれ靴下をお届けしました。住民の方々からは、発災後からこれまでのお話を伺い、住民の自発的な取り組みが大きな力となって、人々を支えていることを教えていただきました。

「手編みの会」では、11月にも靴下と靴下カバー計200足を厚真町に送り、被災地支援の取り組みを継続しています。

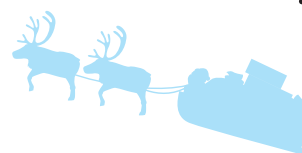
つるい・de・フリマの実施について

鶴居村ボランティアセンターの新企画第1弾として、「つるい・de・フリマ（フリーマーケット）」を開催しました。ボランティアセンターを少しでも皆さんに知ってもらおうと企画したものです。当日は11ブースもの出店があり、出店された方達も楽しんでいる様子でした。幅広い世代の方の出店があったため、子どもからご高齢の方まで色々な掘り出し物が見つかったのではないのでしょうか？前日には初雪が降り足元が悪い中でしたが、100名前後の方々にご来場いただきました。次年度は皆様からいただいたご指摘を活かし、より良いイベント運営をして参ります。



宅配サンタの実施について

～♪ Happy Merry Christmas ♪～



鶴居村ボランティアセンターの新企画第2弾として宅配サンタを実施しました。子どもたちに喜んでもらえるイベントをしようと考え、サンタクロースがご自宅へプレゼントを届けるイベントを企画しました。当日はクリスマス島から2名のサンタさんに来村いただき、ご希望のあったご家庭のお子さんたちのところにプレゼントを渡しに行ってもらいました。サンタさんに感動する子、物怖じしてしまう子、プレゼントをもらってすぐに去ってしまう子などなど、様々な表情を見せてくれました。お手紙やお土産をくれた子もいて、サンタさんはとても喜んで次の街の子どもたちのところへ飛び立っていきました。来年はより多くのお子さんたちに夢を届けてもらいたいと思います。



社協の主なできごと

9月		11月	
11日	第2回理事会	14日	有償運送運営協議会
15日	厚真町での災害ボランティア活動	20日	日野浦正志氏寄付金寄贈式・感謝状贈呈式
19日	第2回評議員会	23日	第1回つるいdeフリマ
10月		12月	
1日～ 12月13日	平成30年度会費募集期間	4日	生活支援体制運営委員会
14日	厚真町への災害救援物資輸送支援 (手編みの会)	5日	第3回理事会
17日	第3回内部監査	19日	第3回評議員会
19日	鶴居中学校福祉授業講師派遣	24日	宅配サンタ事業
23日	ふれあい昼食会	28日	年越しほのぼのサービス事業
31日	厚岸町・音更町への先進地視察研修	1月	
		7日	御用始め
		9日	第2回カレンダー市
		中旬～下旬	第4回内部監査

鶴居村社会福祉協議会のホームページ・facebookについて



本会では、村民の皆さんへの周知広報活動の一環として、ホームページとfacebookを活用しています。

○ホームページ・・・事業の実施に関するお知らせや本会の定款・役員名簿などの基本情報を掲載しています。鶴居村のホームページ内に掲載されています。

↑ facebookでは事業のお知らせなどを随時更新しています。日々の情報はこちらから。

＜アクセス方法＞

次のURLを入力してください。
「<http://www.vill.tsurui.lg.jp/kurashi/fukushi/syakyou.html>」

または、各検索エンジンで「鶴居村社会福祉協議会」と入力すると検索することができます。

○facebook・・・事業の実施に関するお知らせや、実施した事業の報告などを掲載しています。

＜アクセス方法＞

facebookにログインをして、「鶴居村社会福祉協議会」で検索することができます。

↑ 鶴居村ホームページ内のバナーからもリンクしています。

広報紙で伝えられない部分はfacebookにて随時更新中！
検索欄で「鶴居村社協」にアクセス！

発行・編集／社会福祉法人 鶴居村社会福祉協議会

〒085-1203 阿寒郡鶴居村鶴居西1丁目1番地

☎0154-64-3033 FAX 0154-64-3055

Mail info@tsurui-syakyo.jp つるい社協だより冬号

